

豊田市資料

八草地区周辺整備に関する取組状況（豊田市）

1. 産業集積用地の整備に向けた検討

（1）事業概要

八草地区の山林において、民間企業の研究開発施設などの産業集積用地を整備する。

（2）今年度の取組

豊田市土地開発公社を事業主体として、現況・用地測量を進めながら、保安林などの土地利用規制の対応や地権者との更なる合意形成を図っていく。

2. 土地区画整理事業等の手法による市街地整備に向けた検討

（1）事業概要

八草地区は、第7次豊田市総合計画（H20.3）、豊田市都市計画マスタープラン（H20.3）において「拠点地域核」に位置づけられている。

公共交通機関（リニモと愛知環状鉄道）が結節する豊田市の北の玄関口として、駅周辺の活性化、居住者にとっての生活環境向上、自然環境と調和した「拠点地域核」にふさわしい良好な市街地形成に向け、地元まちづくり組織との共働による検討を進めている。

（2）今年度の取組

昨年度、市としての市街地整備方針を確定し、まちづくり推進委員会と今後の取組みに対する合意形成を図った。

今年度からは、地元住民により新たに組織された「まちづくり協議会」と事業化に向けた勉強会等を実施し、土地区画整理事業の準備会組織の設立に向けた取組を進めていく。

3. パークアンドライド駐車場リニューアルの検討

(1) 事業概要

豊田市では 18 年度に公共交通基本計画を策定し、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を行っている。八草駅はリニモと愛知環状鉄道が結節する豊田市の北の玄関口であり、名古屋方面及び豊田市街へのアクセスに適していることから、パークアンドライド駐車場を整備し、公共交通の利用促進を図っていく。

(2) 今年度の取組

拡幅工事の実施（駐車台数：55 台から 173 台へ）。

4. 保見地域バスの路線・ダイヤ改正

(1) 事業概要

保見地域バスの路線やダイヤについて、地域運営協議会と共に検討し、改編を図る。

(2) 今年度の取組

平成 23 年 4 月 1 日から新規路線及びダイヤにて運行開始した。

（広幡・八草コース、田朶・篠原コース）